



# かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 7月号  
平成23年7月1日  
横浜市立川島小学校  
校長 小池 慎一  
TEL 371-0757  
FAX 381-7248

## 素直だということ

副校長 石塚 直実

先日、ノウゼンカズラとヒメヒオウギスイセンの鮮やかなオレンジ色が目に飛び込んでまいりました。

そして、クチナシの甘い香り。来る本格的な夏を予感させる花々に出会い、軽い高揚感を覚えました。

さて、本校では、重点研究授業研究会というのが行われています。これは原則として単年度単位

において、一つの教科・領域等の研究を通して、本校児童のよりよい成長を図るというものです。

今年度は、『意欲的に学習に取り組む子の育成』というテーマを掲げ、～子どもが他者の考えに共感

し、進んで読む授業を目指して～というサブテーマのもと、国語科を通して研究を進めています。

そして、6月28日(火)に授業研究が行われました。1年生は「おむすびころりん」をおじいさん

とおばあさんの喜ぶ様子がわかるように楽しく音読しました。4年生は「動いて、考えて、また、動く」

を読み、題材と文章構成をとらえようと文章の組み立てについて考えていました。5年生は、「百年後

のふるさとを守る」において儀兵衛が葛藤しながらも私財を投げうって、堤防づくりを継続しようと決め

たときの思いについて考え、話し合いを行いました。どのクラスも生き生きと学習に取り組みました。

そして、その授業を観たある教員が、次の様なメッセージを發しました。それは、「建前でなく、素直

な気持ちで読んでるので、作品のよさが生きている」というものでした。そのクラスの子どもたちは

自分事として課題を受け止め、素直な自分の言葉で語り、聞いている他の子どもたちは素直にそれを受け

入れていました。まさに共感的な読みの成立と言えるでしょう。外部の講師も驚き、褒めていました。

この学びは、本校のすべてのクラスで成立は可能だと思います。なぜなら、本校の児童はみんなこの

「素直な気持ち」という現代の子どもたちが失いつつあるすばらしい宝物を持っているからです。



